

子どもの育ち ～MIMAMORU アプローチ～

第134号 2019年9月23日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談やご要望に応えるコンシェルジュがいるように、保育においても様々なご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=ミマモルジュとして、保育に関するご要望にお応えしていけるよう活動していきます。

株式会社ガヤ 奥山卓矢

子どもの育ち

この度、見龍塾（長崎県見守る保育研究会事務局）から、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に沿った、乳児期からの見守る保育的な取り組みという切り口で、保護者の方にも読んでいただけるように、写真、漫画付きの冊子が発刊されました。

冊子には、臥龍塾主催の研修会で作成された10の姿のポスターも掲載され、10の姿のシーンごとの内容も掲載されています。

園の先生方はもちろん、保護者の方に園の保育を説明する際にもご活用頂けるかと思しますので、冊子の購入をご希望される方は、[ギビングツリーのHP](#)からお願いいたします。1冊200円（郵送代別）

まえがき ギビングツリー代表 藤森平司

「見守る保育」の一つの目的は、子どもと保育者との距離感を考えるものです。かつて、保育者は子どもと向き合うように子どもの前に立ち、一斉にある知識なり技術を重んじ、その活動を環境から保障しようという新教育運動が大正時代に起こりました。その時に、子供が自発的に向き合うものの多くは、教具であり、遊具であったのです。（中略）

子どもたちは、大人、社会から見守られながら子ども同士の関係の中で成長していきます。そして、その育ちの過程の中で、就学時における姿を10の姿として示されています。この冊子では、その目安を切り口として、子どもたちの生活を見つめています。子どもたちの育つ力のすばらしさが感じられます。



冊子を読んで思うこと

全国で「見守る保育」を実践する先生方と創り上げられた今回の冊子。

先生方の実践が1冊となり、保護者の方に配られていくと思うと、感慨深いものを感じます。

冊子の後半に掲載されているグランプリ受賞ポスターですが、こちらのセミナーに私も参加させて頂いており、毎回先生方が熱く語り合っているのを見させて頂いていましたので、セミナーでの学びが冊子という形で発信されていくことに驚きと、日々の取り組みがまた活かされていくことに喜びを感じています。

冊子の発起人の一人である長崎県 みのりこども園 西村園長は、以前、世田谷で保護者向けに配布されている[世田谷区 なるほど！せたがやのほいく（世田谷区保育の質ガイドライン）](#)を見てG T版を作ろう！と長崎で動き始めているということをお聞きしていました。

何かを始めようとするとき、誰かの情熱によって多くの協力者が現れ、形になっていくというプロセス、そしてセミナー会場でこちらの冊子を手にとった先生方からの驚嘆の声や「保護者向けに200冊注文しているですか？」という反響の大きさや、冊子の持つ重要性を感じます。

西村先生は「この冊子が、皆様の保育実践の一助になればと思っています。どうぞ手にとってご覧ください。」と仰っていました。

私も自分の出来ることで、園や先生方のお役に立てるよう尽力していきたいと冊子を読み終えて改めて感じています。



冊子の制作に携わった先生が書かれたマンガ

●過去のバックナンバー

第131号

G Tサミット2019後編

第132号

季節の行事__重陽の節供

第133号

藤崎農場__稲刈り

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>



〒161-0023

東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビルディング2号館10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。